

2月末に調査した2010年3月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2010年3月の消費意欲は、先月から2.3ポイント増加し、
50.1点でした。

前年同月比も2.3ポイントの増加。2ヶ月連続で前年超え。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

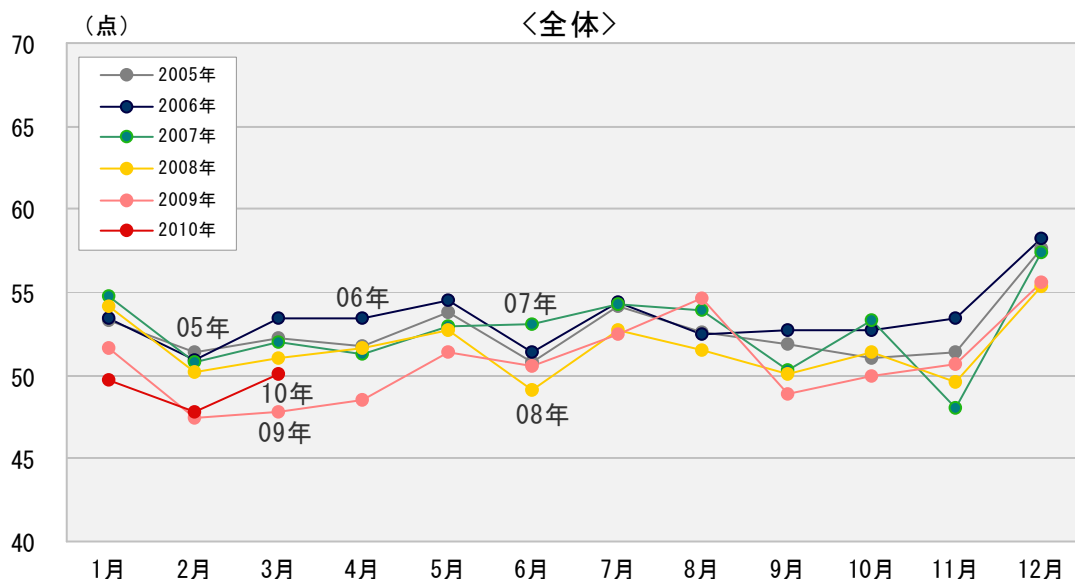
2月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者412名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2010年3月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「3月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2010年3月の消費意欲指数は先月から2.3ポイント増加し、50.1点でした。

2010年3月の消費意欲指数は先月比が2.3ポイント増加、前年同月比も2.3ポイント増加の50.1点となりました。3月としては過去2番目に低い数値でしたが、2月、3月と2ヶ月続けて前年比がプラスとなりました。特に3月の指数は前月比、前年同月比とも伸びが大きく、久しぶりに勢いを感じさせる動きになっています。

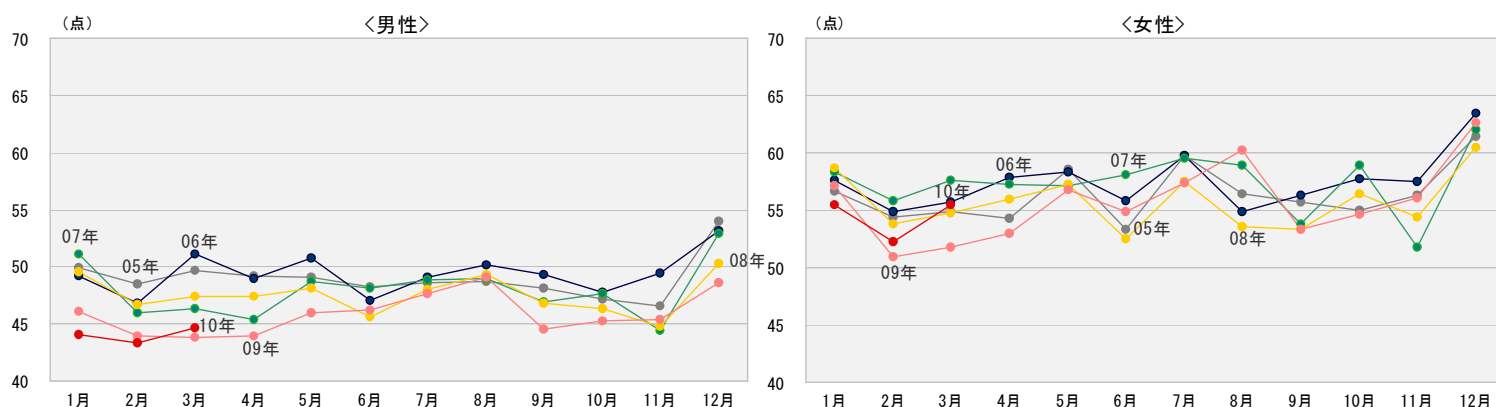
本格的な景気回復には雇用情勢やデフレなどまだまだ先行き不安要因がありますが、最新の景気関連のマクロ指標では景気持ち直しの動きが徐々に広がってきているようです。1月の完全失業率は10ヶ月ぶりに4%台に回復、3月の月例経済報告では8ヶ月ぶりに景気判断が上方修正されました。また、1月の現金給与総額が20ヶ月ぶりに前年超え、小売業販売額も17ヶ月ぶりに増加、2月の街角景気の判断も上方修正されるなど、暮らしまわりの指標にもやや明るさが戻ってきました。このような状況の中、3月に続き4月の消費意欲指数についても順調なアップを期待したいところです。



■ 男女ともに前月比、前年同月比がアップ。女性の回復が目立つ。

男女別の消費意欲指数をみると、男性が先月比1.3ポイント増加、前年同月比0.8ポイント増加の44.7点。女性は先月比3.3ポイント増加、前年同月比3.7ポイント増加の55.5点でした。男女共に前年比、前年同月比がプラスになりましたが、男性の指数は3月としては過去2番目の低さで依然低水準です。女性の指数は前年同月比が昨年8月以来の大幅な上昇で、全体の指数を牽引しています。

今月のパネルの声では、男女ともに「欲しいものがない」という人がいる一方で、「何か買いたい」という気持ちが高まっている人も出てきています。女性では「春なのでおしゃれしたい」「卒業式、入学式に着る服がほしい」や「新生活に向けて準備したい」などの季節的な消費に関する声も目立ちます。



同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、男性では「中くらいな」買い物が前月よりアップしましたが「日常的な小さな」「大きな値の張る」買い物はダウン、特に「日常的な」は大きく下がりました。女性は「大きな値の張る」買い物で先月比がダウンしましたが、「中くらいな」「日常的な小さな」買い物はともに大きくアップし好調だった昨年11月から今年1月の水準に戻りました。

※博報堂生活総合研究所のWEBサイト「生活総研 ONLINE」(<http://seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査・研究データにご自由にアクセスして頂くことが可能です。是非一度ご覧ください。

【調査概要：生活発見パートナーズ調査】

調査地域：首都圏／調査対象者：18～75才の男女個人412人／調査方法：郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 西尾・山野・黒河 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

消費意欲指数・12ヶ月移動平均※（ウェイトバック数値）

全体消費意欲（ウェイトバック数値）

消費意欲	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1993年													
1994年				60.3	60.6	60.7	60.9	60.9	60.8	60.9	61.1	61.5	60.9
1995年	61.7	61.6	61.5	61.5	61.4	61.4	61.2	61.2	61.1	60.9	60.9	60.6	61.3
1996年	60.4	60.4	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.2	60.4	60.3	60.4	60.7	60.4
1997年	60.6	60.4	60.6	60.4	60.0	59.7	59.7	59.7	59.5	59.4	59.2	58.8	59.8
1998年	58.7	58.4	57.9	57.9	58.1	58.0	57.7	57.6	57.5	57.5	57.4	57.4	57.8
1999年	57.3	57.6	57.9	57.9	58.0	58.0	58.2	58.2	58.2	58.2	58.2	58.1	58.0
2000年	58.3	58.3	58.5	58.7	58.4	58.1	57.6	57.2	56.7	56.4	56.1	56.0	57.5
2001年	55.6	55.2	54.7	54.3	54.2	54.2	54.2	54.3	54.3	54.0	53.6	53.2	54.3
2002年	53.0	52.8	52.5	52.3	52.1	51.9	51.8	51.7	51.9	52.3	52.5	52.5	52.3
2003年	52.5	52.3	52.4	52.3	52.2	52.3	52.2	52.2	52.0	51.7	51.7	51.7	52.1
2004年	51.7	51.9	51.8	51.8	51.7	51.8	52.0	52.0	52.1	52.3	52.2	52.3	52.0
2005年	52.4	52.4	52.6	52.7	53.0	52.8	52.8	52.7	52.8	52.6	52.6	52.7	52.7
2006年	52.7	52.6	52.7	52.9	52.9	53.0	53.0	53.0	53.1	53.2	53.4	53.4	53.0
2007年	53.5	53.5	53.4	53.2	53.1	53.3	53.2	53.4	53.2	53.2	52.8	52.7	53.2
2008年	52.6	52.6	52.5	52.5	52.5	52.2	52.1	51.9	51.8	51.7	51.8	51.6	52.2
2009年	51.4	51.2	50.9	50.6	50.5	50.7	50.6	50.9	50.8	50.7	50.8	50.8	50.8
2010年	50.6	50.7	50.9										50.7
前年比	98.5	99.0	99.9										99.1

※本数値は季節調整手法により、四季の気候や特定月に発生するイベント・出来事などの影響を除去した時系列データです。